

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立海老名中学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

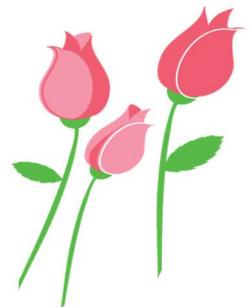
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 思考力・判断力・表現力等について、特に書くことの観点ができます。
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができます。
- 表現の効果を考えて描写し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができます。
- 資料を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことができるかどうかを判断することができます。

◆課題のある点

- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することに課題があります。
- 短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかを判断することに課題があります。
- 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかを判断することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 根拠となる情報を基に考えるような問題を設定し、取り組みます。
- 語彙を増やし、言葉から作者の考えや情景を考えるような問題を設定し、取り組みます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

- どの項目においても、全国・神奈川県の正答率と比較すると、高い数値を示しています。
- 学習指導要領の領域別にみても、全体的に良い結果が得られていると考えます。その中でも、特にA領域「数と式」の正答率が高いので、基礎基本の計算能力が定着している様子がうかがえます。
- 評価の観点別にみても、「思考・判断・表現」の観点が神奈川県・全国と比較して高い値を示しています。
- 問題の形式別にみても、「記述式」の回答結果が他と比べて高いことがわかります。文章を構成する力、数学的な思考力が高まっていることが読み取れます。

◆課題のある点

- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力に課題があります。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決方法を数学的に説明する力に課題があります。
- 事象に着目、観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出す力に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 全体的に、数学的に物事を説明する力に課題があるので、日ごろの授業から「説明する」ことに重点を置いて指導に当たります。
- 物事を解決する道筋は一つではないことに着目させ、様々な解法を話し合い、検討する機会を多く設定します。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問では、1時間以上勉強をしている人が、全国平均より18.6ポイント上回っています。学習の積み重ねは、大きな効果を生みます。予習・復習だけでなく、自分が疑問を持った点を、積極的に調べる発展的な学習にも取り組んでいきましょう。
- 「国語・数学の授業の内容はよくわかりますか」の質問では、学年の約9割の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えており、全国平均を大きく上回っています。毎日の継続的な学習の取り組みが理解度を上げ、理解度の向上により、さらに学習に取り組む意欲を向上させるといふ好循環がなされているようです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均より5.3ポイント低い結果となりました。日常の学習の中に、将来の夢や目標と関わる部分がたくさんあり、学習意欲の向上にもつながります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均よりも5.3ポイント高い結果となりました。学校生活の中で、クラスメイトとの話し合いが、本人の考えを深める良い機会になっているようです。人格形成にとって大事なこの時期の「話し合い活動」をこれからも大切にしていきたいと思います。

◆本校の課題と思われるところ

- 「友達関係に満足していますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた人が、全国平均よりも9.3ポイント低い結果となりました。人との関わりを持つ上で、相手に感謝したり、相手のよいところを積極的に認め、共に成長する姿勢を大切にしましょう。今まで気になっていた短所が気にならなくなったり、互いの関係が円滑になるはずですよ。

今後の具体的な取組について

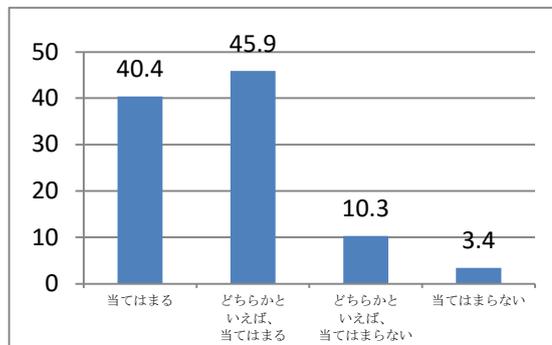
- 教科、学級活動、部活動、行事など、いろいろな場面で、子どもの夢や目標、将来の自分につながることを提示します。また、自分の取り組みを振り返り、自分の得意なことや好きなことなど、将来につながる自己評価や教員からのアドバイスをする等の工夫をします。さらに、職業講話や、職場体験などの活動を通して、働く人たちの生の声を聞き、実際に体験させる活動を通して、自分の将来について考えさせる環境を用意します。
- 学級担任を中心として、子どもと関わる全ての先生が、日常のコミュニケーションを通じて、子どもの気持ちや考えに寄り添えるようにしていきます。また、面談や保護者会、懇談会等、さまざまな場面を通じて、おうちの方とお子さまの様子を共有できるようにしていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 子どものよいところを、積極的に褒めましょう。

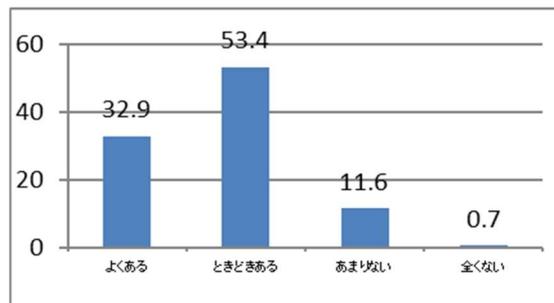
日常生活の中で、自分のよいところについて、自信を持って主張できる、前向きで明るい生活が送れるように、子どものよいところ、よい行動は積極的に褒めましょう。



自分には、よいところがあると思いますか

2 心と体をリフレッシュできる時間を共有してください。

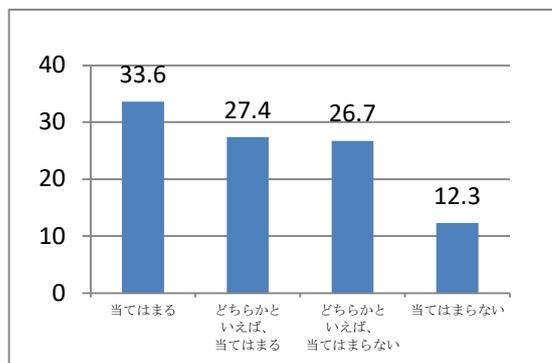
子どもは、普段の生活の中で様々なことを学び、経験しています。その中で不安や悩みもたくさん生まれます。明日からの生活を前向きに送れるように、ご家庭でリフレッシュできる時間を共有してください。



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

3 将来の夢や目標について、語り合しましょう。

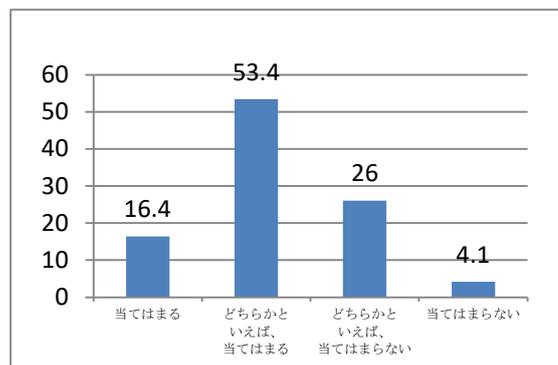
日常の学習や生活の中には、子どもの夢や将来につながるものがたくさんあります。ご家庭でも自分の興味のあることや得意なことにたくさん触れ、将来の夢や目標について語り合ってください。



将来の夢や目標を持っていますか

4 地域の行事には積極的に参加をしましょう。

地域の方はいつもあたたかく私たちの生活を見守ってくれています。地域のボランティアや催し物など、地域の行事に積極的に参加するよう声をかけてください。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

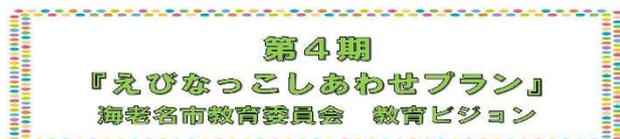
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 子どもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919